

(別紙様式2)

平成29年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
6507	東濃フロンティア高等学校

学校教育目標	一人一人の個性を大切にし、主体的に生きる人間の育成に努める。 1 真理の探究・・・創造力豊かな自ら学ぶ生徒の育成 2 人格の陶冶・・・他を思いやる心豊かな生徒の育成 3 体力の増進・・・心身ともに健康でたくましい生徒の育成	
今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 基礎学力を養います。 本校独自の教材や科目を活用し、少人数授業の特色を生かして、基礎学力の確実な定着を図ります。	①基礎学力養成・家庭学習の充実について全校体制で取り組みます。 ②6月と11月の公開授業週間には全教科で研究授業を行います。 ③授業の中で、義務教育段階の学習内容を補完し、さらに就職・進学に対応できる学力を養うために学校設定科目（F教科）を設けるとともに、授業のユニバーサルデザイン化と効果的な評価による授業改善に取り組みます。	① 基礎力診断テスト等による学力の客観的な把握。 ② 家庭学習のための「やるノート」の検証と取り組みの向上。 ③ 就職採用選考における学力試験に対応できるF科目教材の蓄積。
2 社会性を養います。 ルールやマナーを遵守する姿勢や仲間と共に生きる力を育成します。	①毎日の校内巡視や生徒への声かけを通し、安心・安全な学校生活を支援するとともに、ゼミ活動や行事、集会等を通して互いを尊重する心を養います。 ②全職員で、生徒の社会性を高めるための指導（ソーシャルスキルトレーニング）についての研修を進め、授業に取り入れます。 ③積極的に地域社会との交流を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めます。	① 問題行動の減少。 ② 欠席・遅刻者数、休学・退学者数の減少。 ③ 生徒及び保護者等のアンケート結果。
3 キャリア支援をします。 「総合的な学習の時間」（チャレンジタイムなど）を通して、適切なキャリア教育を行います。	①進路指導部・各年次が主体となって、CT（チャレンジタイム＝「総合的な学習の時間」＋「LHR」）を生かし、生徒の自己把握、情報収集、コミュニケーション能力を育成し、進路決定能力を育てます。 ②生徒一人一人に合った適切な進学・就職指導を実施します。 ③保護者及び外部機関との連携による態勢づくりに努めます。	① 就職・進学等の進路結果。 ② 生徒及び保護者等のアンケート結果。 ③ 面談や職業適性検査の結果。